

少数台数のリコール届出の公表について	(平成29年6月分)
--------------------	------------

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成29年6月は12件の届出がありましたので、公表します。

## 1. 届出者：ニチュ三菱フォークリフト株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月6日	4055	車名：ニチュ三菱 型式：WDR-F20D 通称名：三菱フォークリフト	23	平成26年7月8日～ 平成28年12月23日
不具合の部位等	制動倍力装置のバキュームポンプの作動を制御する負圧スイッチにおいて、製造時にスイッチ内のシリコンゴムの二次加硫をしていないものがあり、スイッチ内にシロキサン等のガスが発生し、可動接点が固定接点から離れる際のアーク放電により、接点部に絶縁性の高いシリコン化合物が生成されることがある。そのため、接点の抵抗が増え導通不良となり、負圧タンク内の負圧が低下しても、負圧スイッチが作動しないためバキュームポンプが作動せず、ブレーキペダルの操作力が増大し、制動距離が長くなるおそれがある。また、負圧タンク内の負圧が低下した際、警告ブザーが鳴るが、音量が小さいため、運転者が負圧低下に気付かないおそれがある。			

## 2. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月13日	外 2493	車名：メルセデス・ベンツ 型式：不明 通称名：Citaro-G	25	平成19年10月5日～ 平成23年9月12日
不具合の部位等	連節バスの原動機において、燃料ホース同士が接触することを防止するスペーサの保持力が不足しているため、原動機等の振動により、当該スペーサが緩んだり脱落するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料ホース同士が接触して穴が開き、最悪の場合、燃料が漏れて火災に至るおそれがある。			

3. 届出者：日本フルハーフ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月15日	4057	車名：フルハーフ 型式：DFPDF241A改他 通称名：-	15	平成18年7月20日～ 平成24年7月21日
不具合の部位等	トレーラの車軸において、エアサスペンションの伸び高さを制限する装置（キャッチストラップ）のワイヤー取付位置が不適切なため、ワイヤーと車軸が干渉するものがある。そのため、このままの状態で使用を続けると、車軸のワイヤー干渉部位に摩耗が発生し、車軸の堅牢性を損なうおそれがある。			

4. 届出者：UDトラック株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月15日	4063	車名：UDトラック 型式：TKG-MK38L他 通称名：コンドル	3	平成29年2月22日～ 平成29年2月23日
不具合の部位等	中型トラックの燃料タンク製造工程において、プレス成型後のシーム溶接の条件設定が不適切なため、燃料タンクのR部分が融合されていないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該部分から燃料が滲み出ることがあり、最悪の場合、滴下するおそれがある。			

5. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
6月15日	外 2496	車名：メルセデス・ベンツ 型式：RBA-213042C他 通称名：E200他	5	平成28年6月21日～ 平成28年11月10日
不具合の部位等	電動パワーステアリングにおいて、電動モータ内部の製造管理が不適切なため、端子部の溶接が行われていないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、端子部の接続が外れてしまいパワーステアリングのアシストが失われるおそれがある。			

6. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
6月15日	外 2497	車名：メルセデス・ベンツ 型式：CBA-213064他 通称名：メルセデスAMG E43 4MATIC他	26	平成28年9月23日～ 平成28年11月9日
不具合の部位等	メーターパネルディスプレイにおいて、表示プログラムが不適切なため、エンジン始動時に何も表示されないことがある。また、走行中に表示プログラムがリセットされ、短時間であるが、速度計、走行距離計及び燃料計等が表示されないおそれがある。			

## 7. 届出者：株式会社KCM

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月16日	4061	車名：川崎 他 型式：EDR-65J4 他 通称名：65ZV-2 他	15	平成25年 8月30日～ 平成25年10月11日
不具合の部位等	制動装置のブレーキピストンにおいて、ピストン部に誤ったオイルシールを組み付けたため、シール性が不足しているものがある。そのため、ブレーキ液が漏れ、そのままの状態で使用を続けると、ブレーキ液が減少して警告灯が点灯し、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。			

## 8. 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作日
6月23日	4075	車名：三菱 型式：DBA-B11W 通称名：eK	1	平成29年 6月 1日
不具合の部位等	原動機のシリンダーブロックにおいて、鋳造型の中子がずれたまま鋳造されたため、オイル通路が完全に貫通していないものがある。そのため、オイル供給不足によりクランクシャフトのジャーナルメタルが焼き付き、異音が発生し、最悪の場合、原動機が焼き付くおそれがある。			

※平成29年6月23日 公表済み

## 9. 届出者：ニコル・レーシング・ジャパン合同会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
6月26日	外 2508	車名：BMWアルピナ 型式：ABA-3K30 通称名：B3S ビ・ターボ 他	26	平成23年 5月27日～ 平成23年 8月12日
不具合の部位等	動力伝達装置において、プロペラシャフトとトランスミッションを接続するジョイントディスクの製造が不適切なため、当該ディスクの強度が不足しているものがある。そのため、駆動トルクによりディスクが破損し、そのままの状態で使用を続けると、走行中に異音が発生、最悪の場合、プロペラシャフトが外れ、走行不能となるおそれがある。			

10. 届出者：ピアッジオグループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
6月28日	外 2489	車 名 : ピアッジオ 型 式 : ZAPM71 通称名 : MP3300 Yourban	50	平成26年 6月 5日～ 平成26年 8月15日
不具合の部位等	制動装置において、リヤブレーキホースの組付指示が不適切なため、当該ホースと消音器が接触しているものがある。そのため、消音器の熱によりホースの接触部が溶損し、ブレーキフルードが漏れ、最悪の場合、リヤブレーキが効かなくなるおそれがある。			

11. 届出者：キャタピラージャパン合同会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
6月29日	外 2506	車 名 : キャタピラー 型 式 : YDN-FTLL 他 通称名 : 259D 他	18	平成28年 9月 8日～ 平成28年10月28日
不具合の部位等	ショベル・ローダの方向指示器において、方向指示器の点滅速度を制御する部品が不適切なため、点滅回数が保安基準第41条で定める点滅回数より少ないものがある。そのため、当該基準に適合しないおそれがある。			

12. 届出者：ドゥカティジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
6月30日	外 2490	車 名 : ドゥカティ 型 式 : EBL-AA02 通称名 : ムルティストラーダ 1200 エンデューロ	48	平成28年 5月29日～ 平成28年 7月17日
不具合の部位等	緩衝装置において、リヤショックアブソーバーのロアマウント部の強度が不足しているため、悪路走行時の衝撃等によりロアマウント部に亀裂が生じることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進展し、ロアマウント部が破断して緩衝機能が失われ、最悪の場合、転倒するおそれがある。			

【参考】

●平成29年6月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	18 (-10)	13 (-9)	5 (-1)
輸入車	20 (+9)	13 (+5)	7 (+4)
計	38 (-1)	26 (-4)	12 (+3)

※ ( ) 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成29年度)

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	22(+5)	8(-4)	30(+1)	808,469(-1,175,324)	3,638(-22,525)	812,107(-1,197,849)
5	9(±0)	15(+11)	24(+11)	196,104(+90,513)	8,789(+5,578)	204,893(+96,091)
6	18(-10)	20(+9)	38(-1)	179,217(-4,553,922)	65,506(-35,473)	244,723(-4,589,395)
小計	49(-5)	43(+16)	92(+11)	1,183,790(-5,638,733)	77,933(-52,420)	1,261,723(-5,691,153)

※ ( ) 内は、対前年比